富山県産業連関表による稼ぐ力と雇用力、経済循環

０．富山の産業

富山県は、日本海側最大の工業集積地であり、北陸工業地域の中核である。ライフラインや銀行の本店があり、北陸経済の重要な拠点となっている面がある。

立山連峰の豊富な水資源と水力発電を利用して産業が発達している。特に電気料金は北陸電力が日本で最も安い電気料金を実現しており[[211]](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AF%8C%E5%B1%B1%E7%9C%8C#cite_note-211)、多量の電気を必要とするアルミ精錬とその関連産業が栄えてきた。臨海部を中心として石油精製、重化学工業、各種電気製造が発達している。[特定重要港湾](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%89%B9%E5%AE%9A%E9%87%8D%E8%A6%81%E6%B8%AF%E6%B9%BE)[伏木富山港](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8F%E6%9C%A8%E5%AF%8C%E5%B1%B1%E6%B8%AF)では大量の原料の輸入と製品の輸出が行われている。

「[越中の薬売り](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AF%8C%E5%B1%B1%E3%81%AE%E5%A3%B2%E8%96%AC)」の伝統から[医薬品](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%BB%E8%96%AC%E5%93%81)の製造・販売が盛んである。製薬業は景気後退や高齢化の進行に強い。[ジェネリック](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BE%8C%E7%99%BA%E5%8C%BB%E8%96%AC%E5%93%81)ブームの恩恵もあり、平成不況の中でも安定している。

* 製造業
	+ 合金加工 - [アルミ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%82%A6%E3%83%A0)（[アルミサッシ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%9F%E3%82%B5%E3%83%83%E3%82%B7)生産シェア国内第1位 [YKK AP](https://ja.wikipedia.org/wiki/YKK_AP)、[三協・立山HD](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%89%E5%8D%94%E3%83%BB%E7%AB%8B%E5%B1%B1%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%B9)、[新日軽](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%97%A5%E8%BB%BD)）、[銅](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8A%85)（製品国内シェア第1位）、[鉄](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%89%84)（合金鉄（[フェロアロイ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A7%E3%83%AD%E3%82%A2%E3%83%AD%E3%82%A4)）シェア国内1位）、[マグネシウム](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%82%B0%E3%83%8D%E3%82%B7%E3%82%A6%E3%83%A0)等。
	+ 工業機械 - 自動車部品、[ベアリング](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%99%E3%82%A2%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%82%B0)（生産シェア国内第4位 [不二越](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8D%E4%BA%8C%E8%B6%8A)）、精密工作機械（[タービン](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%93%E3%83%B3)工作機械世界シェア25%、[半導体](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8D%8A%E5%B0%8E%E4%BD%93)ポリッシングマシン世界シェア1位）、[産業用ロボット](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%A3%E6%A5%AD%E7%94%A8%E3%83%AD%E3%83%9C%E3%83%83%E3%83%88)（世界シェア5位）
	+ 電気機器 - 電子部品（[スイッチング電源](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%82%A4%E3%83%83%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%B0%E9%9B%BB%E6%BA%90)国内シェア2位、3軸[加速度センサー](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8A%A0%E9%80%9F%E5%BA%A6%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%B5%E3%83%BC)、抵抗器ほか）、家電製品、半導体大規模集積回路（CCD/MOSイメージセンサ、AV/通信向けマイクロコンピュータ (32bit/64bit)、液晶/PDPドライバ等、[パナソニック](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91%E3%83%8A%E3%82%BD%E3%83%8B%E3%83%83%E3%82%AF)の国内最大拠点）、化合物半導体ディスクリートデバイス
	+ 造船 - 日本海側では数少ない[ドライドック](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%89%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%83%E3%82%AF)設備有り
	+ 建設 - 総合建設業、鉄骨橋梁（[川田工業](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%9D%E7%94%B0%E5%B7%A5%E6%A5%AD)）、各種プラント建設
	+ 化学工業 - 化学原料（[塩酸](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A1%A9%E9%85%B8)、[硫酸](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A1%AB%E9%85%B8)など）、化学肥料、[ポリカーボネート](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%AB%E3%83%BC%E3%83%9C%E3%83%8D%E3%83%BC%E3%83%88)製品、塩化ビニル製品人工イクラ
	+ ファスナー - 世界シェア1位 ([YKK](https://ja.wikipedia.org/wiki/YKK))
	+ 製薬 - 医療用総合医薬品製造、薬品原料（[インドメタシン](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%BF%E3%82%B7%E3%83%B3)など）、[漢方薬](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%BC%A2%E6%96%B9%E8%96%AC)、外用剤、各種研究施設多数。また、生産した家庭薬の[配置薬業](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%85%8D%E7%BD%AE%E8%B2%A9%E5%A3%B2%E6%A5%AD)（置き薬）も江戸時代から有名である。
	+ その他 -製油、紡績、[野球用バット](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%90%E3%83%83%E3%83%88_%28%E9%87%8E%E7%90%83%29)
* 電力業-[北陸電力](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E9%99%B8%E9%9B%BB%E5%8A%9B)、[関西電力](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%96%A2%E8%A5%BF%E9%9B%BB%E5%8A%9B)（富山・新潟・長野一体には、水力発電関連の関西電力の施設がある）

以上、Wikipedia

１．稼ぐ力

　富山県の移輸出額（昼間人口当たり万円）

コメント

　医薬品製造業が50万円強とダントツで、二位の「生産用機械」を15万円程度引き離している。第三位は「非鉄金属製品」でアルミニウムである。第四位は「金属製品」である。これら４つで、移輸出総額の41.3％に達している。

　下の表は、工業統計表（2014年）の詳細分類から、富山県の医薬品関係の状況を抽出したものである。医薬品製剤製造業については、全国の出荷額が6,698.7億円なので、その５割を占めている。



経済産業省の統計　<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

さらに　工業統計調査　<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>

統計表一覧　⇒　細分類

２．生み出す力

　富山県の粗付加価値額（昼間人口当たり万円）

地域に所得をもたらす産業としても「医薬品」製造業が一位である。次いで、「公務」「医療」となっており、稼ぐ力の二位であった生産用機械製造業は第四位に交代する。製造業の盛んな富山県といえども、所得を生み出しているのは行政部門が大きい。また「電力」部門も付加価値額が大きく、他の県と異なる特徴と言えよう。

３．雇用力

　県内の従業者数、千人単位。

４．稼ぐ力と雇用力の関係

　全般的に稼ぐ力のある製造業はあまり雇用を吸収していないことがわかる。「商業」については、交易収支がマイナスであるものの、雇用吸収力は高い。

５．循環

富山県で最も稼ぐ力のある「医薬品製造業」について見てみる。生産額のほとんどは県外に移出されていることがわかる。医薬品の県内需要は1人当たりで86.5万円。その需要の行き先は中間需要と最終需要が半々である。

投入面を見ると、中間投入の18.2％が「研究」部門であり、富山県での「研究」部門の域外依存率は11.5％と低く、医薬品の研究開発が地域内でまかなえていると考えられる。しかし、商業を除く他の中間投入物については域外依存率が高く、その分、波及効果において資金の流出が生じると思われる。

